

2015年度（第49期）

## 救助隊活動方針(案)

2014年度に引き続き、救助訓練・勉強会等を行います、時代と共に救助方法も変わり、ヘリコプターレスキューは救助活動の主流となっています。

現状を踏まえ私たちアマチュアの救助隊は、県連会員の約8割を占めるハイキング層を対象に『安全登山』を礎とし、教育遭難対策委員会との合同の例会実施で『安全登山』の啓発活動(コンパニオンレスキューの普及)を実施して有事に備えるとともに、最近の事故事例を基に検証を踏まえた「安全技術のスタンダード ガイドライン」として、雪上技術、懸垂下降標準化の普及活動、コンパニオンレスキューの知識習得と実践的訓練、第3次搜索活動訓練を計画・実施し、安全登山・事故予防対策に注力し、果敢に提案したいと考えています。

また、救助隊員は救助隊訓練及び、各加盟会の山行等を通じ、「一つでも多くの山を知り、技術を磨き、心身を鍛え、人を知る」ことに心がけて行きます。

### <2015年度 年間計画>

#### ◆訓練計画策定3本柱

◇コンパニオンレスキューと登山技術向上の実践的訓練

7点セットの利用法、初動対処(応急処置・救助要請等)法、懸垂下降 Std.反復訓練

◇自己啓発による技術習得

机上訓練、屋内訓練及び、近隣ゲレンデ及び沢登り・雪山での訓練

◇第三次搜索の知識習得と実践的訓練の実施

第一次～三次までの流れと事務手続き、活動プロセスの研究、搜索活動訓練

#### ◆訓練日程

◇ 1～ 3月:雪山訓練、関東ブロック深雪訓練/交流集会

◇ 4～ 6月:雪山訓練、沢登り、懸垂下降 std.訓練、レスキューデバイス訓練

◇ 7～ 9月:沢登り、懸垂下降 std.訓練、レスキューデバイス訓練

◇10～12月:事故防止交流集会、レスキューデバイス訓練、雪山訓練

※救助隊公式訓練は偶数月にて計画しています。

以上